

コース名	科目名			対象学年
公衆衛生社会医学	環境社会医学			4
開講学期	科目責任者	副責任者		
1学期	大槻 剛巳	西村 泰光	全体資料 無	

授業到達目標

1. 地球環境の問題と健康の関わりを説明できる。
2. 生活環境の保全について、上下水道や廃棄物処理も含めて説明できる。
3. 公害の要因や対策、現状の環境からの健康障害について説明できる。
4. 食品の安全について、その動向、食中毒、衛生管理について説明できる。
5. 国民の栄養について、現状、健康との関連、食育、食事摂取基準について説明できる。
6. 労働環境や労働に伴う健康障害の状況について説明できる。
7. 労働衛生管理について説明できる。
8. 職業性疾病と関連する健康課題、健康増進とともに心身ともに働きやすい職場環境について説明できる。
9. 保健・医療・福祉・介護関連の施設、産業現場の見学実習を通して、見学者、医学生、医師に必要な人間性および態度を習得・向上し、適切に行動できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	4/1	月	3	講義	大槻・吉留	衛生	環境社会医学ユニットの【見学・実習】、【e-Testing】、【VOD】のオリエンテーション 法医学領域の【見学】、【e-Testing】のオリエンテーション	A-7-1), B-1-6)-2 B-1-6)-3, B-1-6)-4 B-2
2・3	4/10	水	2・3	講義	大槻	衛生	繊維・粒子状物質の免疫影響 見学・実習1回目オリエンテーション	B-1-6), B-1-6)-3 C-3-2)-(4)-5, E-3-1)-1 E-3-5)-6
4~6	4/10	水	4~6	実習	大槻・西村泰 吉留・武井 李	衛生	見学・実習1回目	B-1-6)-2, B-1-6)-3 B-1-6)-4, B-1-7)-1 B-1-7)-3, B-1-7)-7
7	4/17	水	3	講義	吉留	衛生	中毒物質の測定、病因との関連	E-5-3)-(1)
8	4/24	水	2	講義	武井	衛生	アスベストの細胞傷害性T細胞への影響	B-1-6)-3, C-3-2)-(1)-1 C-3-2)-(3), C-3-2)-(4) C-4-6), D-6-4)-(9)-4 E-5-1)-1, E-5-3)-(1) E-5-3)-(2)
9	4/24	水	3	講義	大槻	衛生	見学・実習2回目オリエンテーション	B-1-6)-1, B-1-6)-2 B-1-6)-3, B-1-6)-4 B-1-7)-1, B-1-7)-3 B-1-7)-7
10~12	4/24	水	4~6	実習	大槻・西村泰 吉留・武井 李	衛生	見学・実習2回目	B, B-1-6)-1 B-1-6)-2, B-1-6)-3 B-1-6)-4, B-1-7)-1 B-1-7)-3, B-1-7)-7
13	5/15	水	2	講義	大槻	衛生	健康・疾病に対する医用工学的アプローチ	C-4-4)
14	5/15	水	3	講義	大槻	衛生	見学・実習3回目オリエンテーション	B-1-5)-6, B-1-6)-3 B-1-6)-4, E-5-3)-(1) E-5-3)-(2)
15~17	5/15	水	4~6	実習	大槻・西村泰 吉留・武井 李	衛生	見学・実習3回目	B-1-6)-1, B-1-6)-2 B-1-6)-3, B-1-6)-4 B-1-7)-1, B-1-7)-3 B-1-7)-7
18	5/29	水	2	講義	李	衛生	珪酸曝露と自己免疫疾患	C-3-2)-(2), C-3-2)-(3) C-3-2)-(4)-3, C-3-2)-(4)-5 E-4-3)-(1)
19	5/29	水	3	講義	大槻	衛生	見学・実習4回目オリエンテーション	B-1-6)-3, B-1-6)-4 E-5-3)-(1), E-5-3)-(2)
20~22	5/29	水	4~6	実習	大槻・西村泰 吉留・武井 李	衛生	見学・実習4回目	B-1-6)-1, B-1-6)-2 B-1-6)-3, B-1-6)-4 B-1-7)-1, B-1-7)-3 B-1-7)-7

23	6/19	水	2	講義	西村泰	衛生	アスベストやナノ材料の免疫影響と疾病による変化	B-1-6)-3, C-2-3)-(3)-2 C-2-3)-(3)-3, C-3-2)-(4)-5 D-6-4)-(9)-4, E-3-5)-6 E-5-3)-(1)
24	6/19	水	3	講義	大槻	衛生	見学・実習5回目オリエンテーション	B-1-6)-3, B-1-6)-4 B-1-7)-1, B-1-7)-3
25~27	6/19	水	4~6	実習	大槻・西村泰 吉留・武井 李	衛生	見学・実習5回目	B-1-6)-1, B-1-6)-2 B-1-6)-3, B-1-6)-4 B-1-7)-1, B-1-7)-3 B-1-7)-7
評価方法								
<p>[期末試験]85% (五者択一もしくは択二の問題を e-Testing で実施する。)</p> <p>[実習点]15% (見学・実習を5回実施する。)</p> <p>[評価方法]多肢選択試験、実習態度評価</p> <p>[備考]見学実習に正当な理由なく欠席した場合は、科目評価自体を欠点とする。 見学実習については、集合時刻、態度、服装なども含めて総合的に評価する。 将来医師になる者として、保健医療・公衆衛生等に関連した必須の施設の見学実習であり、またすべて学外他施設を訪問することになる。 先方の施設の方々は、医学教育に多大なご理解を頂きボランティアで受け入れてくださっていることを十分に弁えて、しっかりと学習すること。そして質問なども積極的に行うこと。感想とレポートはWEB投稿とする。</p>								
課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックについて								
種々の課題・問題については、教室WEBで開示する。見学・実習レポートについては、見学先施設からの感想などを適宜伝える。								
教科書								
ISBN-9784896326871, 公衆衛生がみえる 2018-2019, 医療情報科学研究所編集, Medic Media, 2018								
参考書								
ISBN-9784524263158, NEW 予防医学・公衆衛生学 (Nankodo' s essential well—advan), 岸 玲子 (編集), 大前 和幸 (編集), 小泉 昭夫 (編集), 古野 純典 (編集), 南江堂, 2012/04/01 ISBN-9784780706017, 分子予防環境医学—生命科学研究の予防・環境医学への統合, 分子予防環境医学研究会 (編集), 本の泉社, 2010/12/01								
準備学習 (予習・復習等)								
原則として、教科書の解説や試験対象の内容は、VOD で閲覧できるように設定します。予習・復習ともに大槻担当領域についてはVODで1時間以上学習してください。また大槻担当領域で、生講義では、この領域や教室が専心している最近の研究の話題、あるいは社会や生活に根ざした情報を伝えていこうと思いますので、興味と向学心で聴いてくだされば幸いです。								
講義についての注意事項								
<p>【期末試験】85% 五者択一もしくは択二の問題を e-Testing で実施する。</p> <p>【見学実習の感想とレポート】15% 見学実習に正当な理由なく欠席した場合は、科目評価自体を欠点とする。 見学実習については、集合時刻、態度、服装なども含めて総合的に評価する。 将来医師になる者として、保健医療・公衆衛生等に関連した必須の施設の見学実習であり、またすべて学外他施設を訪問することになる。 先方の施設の方々は、医学教育に多大なご理解を頂きボランティアで受け入れてくださっていることを十分に弁えて、しっかりと学習すること。そして質問なども積極的に行うこと。感想とレポートはWEB投稿とする。</p> <p>【e-Testing】 テスト (期末・補充) はマルチメディア教室で e-Testing で実施する。</p> <p>【VOD】 video on demand (VOD)形式の授業を取り入れる。VOD は、授業内容を繰り返し視聴の上、閲覧できるように構成されており、ID・PWにて、個人PCやスマホ、タブレットなどでも閲覧できる方式をとる。</p> <p>【ID・PW】 e-testing あるいは見学実習の感想とレポートの提出、VODの視聴にはIDとPWが必要で、PWについては、学生個人々々で把握していかなければならないことを十分理解しておくこと。</p> <p>【教科書】 2018年3月発刊で、刷新されるのは2020年3月の予定です。もし法改正その他変更点があれば、その都度、授業で触れるようにします。</p>								
昨年度からの変更点・改善項目								
2018年度は公衆衛生学的な「感染症」領域を担当しておりましたが、2019年度は「予防医学ユニット」で授業されます。ですので、環境社会医学ユニットでは、「環境保健」、「産業保健」、「食品保健・栄養」を受け持ちます。また、2018年度は一部生授業での試験対象範囲の実施がございましたが、2019年度は、すべてVOD授業とします。								

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について

臨床実習開始のために必要な医学知識を習得し臨床医科学を理解する。

ナンバリング

SPES419